規約類の改正

今年度・２０２５年（Ｒ７）からの変更箇所

関東学生卓球連盟・規約

第３章　　構　　　成

（組織体）

第　６条　本連盟は関東地区に所在する文部科学大臣認定の大学、短期大学、専門学校及
び法律（防衛庁設置法、職業訓練法、農林水産省設置法、国土交通省等）によ
って設置された大学校の卓球部を以って組織する。ただし大学院~~、通信教育課~~
~~程~~の卓球部員は含まれない。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

（組織体）

第　６条　本連盟は関東地区に所在する文部科学大臣認定の大学、短期大学、専門学校及
び法律（防衛庁設置法、職業訓練法、農林水産省設置法、国土交通省等）によ
って設置された大学校の卓球部を以って組織する。ただし大学院の卓球部員は含まれない。

※通信制の登録許可

関東学生卓球連盟・事業実施細則

全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）、

全日本学生選抜卓球選手権大会

予選リーグ　　　　→　第１ステージ（リーグ戦）

決勝トーナメント　→　第２ステージ（トーナメント）

第　４条　全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部（全日本大学対抗卓球選手権大会）
（主催　日本学生卓球連盟）

　　　　　３．登録規定

　　　　　　　（２）（前略）

　　　　　　　　　　選手の変更は一切認めない。但し､関東地区予選と本大会では登録

選手を変更しても良い｡又､本大会においては､申し込みの時点に

おいて日学連登録人数が７名に満たない場合にのみ､その不足分に

限り､新規登録手続きの後､主将会議まで追加エントリーを認める。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

関東地区予選と本大会では登録選手を変更しても良い｡

関東地区予選においては、選手の変更は一切認めない。

本大会においては、選手変更がある場合は、大会要項等により定めら

れた日時までに所定の用紙に記入の上、提出することによって選手

変更が認められる。

※インカレ関連の選手変更に関する記載の修正（日学連の変更の反映など）

第　６条　全日本学生選抜卓球選手権大会

　　　　　３．出場資格

　　　　　　　（１）当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルスランキング１６位まで

　　　　　　　（２）前年度全日本学生選抜卓球選手権大会ベスト８以上

　　　　　　　（２）（３）本連盟内規第３条に定める外国人留学生選手

　　　　　　　（３）（４）主管支部推薦者・男女各４名ずつ

　　　　　　　（４）（５）各支部（主管支部以外）推薦者・男女各２名ずつ

　　　　　　　（５）（６）当該年度日本リーグ・日学連・高体連合同強化事業の成績優秀選手（全体順位の１位から３位）・男女各３名ずつ

　　　　　　　（６）（７）強化委員会推薦者

ただし、全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）でランク入りした日本人選手に関しては、原則として本大会への出場を義務とする。止むを得ない事情がある場合は、その理由を記した欠場届けを本連盟に提出しなければならない。無断で本大会を欠場した場合、およびその理由が正当でないと判断された場合は罰則を課す場合がある。また、強化委員会推薦者は全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）ランカーの欠場の補充とし、両者の合計は１６名とする。

　　　　　　　（７）（８）参加申し込みが男女各４８名に満たない場合にその不足人数分の主管支部補欠推薦者

４．シード規定

　　　　　　　（１）出場予選

　　　　　　　　　　男女各４８名を越えた参加申し込みがあった場合は、その超過人数分の出場予選を行なう。出場予選の組合せは、過去の実績を持たない外国人留学生選手による無作為抽選で決定する。

　　　　　　　（２）第１ステージ

　　　　　　　　　①次の優先順位に従い、各ブロックの各段に選手を割り当てる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段目 | 優先順位 | 対象 |
| １ | １ | 当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルスランキング１～８位の選手 |
| ２ | 上記に欠場があった場合に同ランキング９位以下の選手 |
| ２ | ３ | 同ランキング９～１６位の内１段目に入らなかった選手 |
| ４ | 強化委員会推薦者 |
| ３ | ５ | 合同強化事業の成績優秀選手（最大３名） |
| ６ | 前年度全日本学生選抜卓球選手権大会ベスト８以上で上位の選手 |
| ７ | 外国人留学生選手 |
| ８ | 主管支部推薦者（最大４名）または主管支部補欠推薦者 |
| ４ | ９ | ３段目の優先順位の対象の内３段目に入らなかった選手 |
| ５・６ | １０ | 各支部（主管支部以外）推薦者（１６名） |

　　　　　　　　　②１段目はランキング１位をＡブロックに、２位をＢブロックに、３位以下を同様に割り当てる。

　　　　　　　　　③２段目以下は抽選により割り当てる。なお出来るだけ同じ大学の選手が同じブロックにならないよう考慮する。また５・６段目において同じ支部の選手が同じブロックにならないよう考慮する。

　　　　　　　　　①各ブロックの１段目

　　　　　　　　　　当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルスのランキング上位選手をＡブロックから順に自動的に割り振る。欠場がない場合は、

　　　　　　　　　　Ａブロック　全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）優勝者　（ランク１位）

　　　　　　　　　　Ｂブロック　全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）準優勝者　（ランク２位）

　　　　　　　　　　Ｃブロック　全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）ランク３位

　　　　　　　　　　　　：

　　　　　　　　　　Ｈブロック　全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）ランク８位

　　　　　　　　　　となる。欠場があった場合は、ランク９位以下を繰り上げる。

　　　　　　　　　②各ブロックの２段目

　　　　　　　　　　当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルスのランキング９～１６位の内、１段目に入らなかった選手、および強化委員会推薦者を抽選で割り当てる。

　　　　　　　　　③各ブロックの３段目

　　　　　　　　　　合同強化事業の成績優秀選手、主管支部推薦者１～４名、および外国人留学生選手４名を入れる。合同強化事業の成績優秀選手は必ず３段目に入れなければならない。外国人留学生選手は、前年度の全日本学生選抜卓球選手権大会の結果の上位より充てる。（ベスト４→ベスト８→ベスト１６）前年度ベスト１６の外国人留学生選手で３段目が満たない場合は、その他の外国人留学生選手の抽選にてこれを補充する。また、前年度の全日本学生選抜卓球選手権大会において、ベスト４に入った外国人留学生選手はＥ～Ｈブロックに入れなければならない。

　　　　　　　　　④各ブロックの４段目

　　　　　　　　　　各支部（主管支部以外）推薦者各２名ずつの内、各支部からの優先度の高い１名ずつの計８人を抽選にて入れる。

　　　　　　　　　⑤各ブロックの５段目

　　　　　　　　　　各支部（主管支部以外）推薦者各２名ずつの内、４段目に入らなかった計８人を抽選にて入れる。なお抽選にあたっては、同一支部同士が４段目と５段目において重複しないようにする。

　　　　　　　　　⑥各ブロックの６段目

　　　　　　　　　　３段目に入らなかった主管支部推薦者および外国人留学生選手または主管支部補欠推薦者を無作為抽選にて入れる。

　　　　　　　　　⑦以上の全段の抽選においては、極力、同じ大学の選手を同じブロックに入れない様に考慮する。それ以外は、無作為抽選を原則とし、全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）のベスト８決定戦の対戦者が同じブロックの１段目と２段目に入ることなども妨げない。

第　８条　関東学生卓球リーグ戦（主催　関東学生卓球連盟）

12．個人表彰について

　　チ．各賞の選考は次の通りとする｡

 ２部以下殊勲賞と特別賞以外の各賞に関しては､大会委員長(理事長)･競技委員長

(幹事長)･競技副委員長･審判長･技術部長・強化委員長(男女)による選考会議にて選

考する。~~なお､殊勲賞に関しては､当該優勝チームの監督から参考意見を聞くこと~~

~~ができる。~~選考後､会長の承認を得て決定する｡

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　チ．各賞の選考は次の通りとする｡

 ２部以下殊勲賞と特別賞以外の各賞に関しては､大会委員長(理事長)･競技委員長

(幹事長)･競技副委員長･審判長･技術部長・強化委員長(男女)による選考会議にて選

考する。選考後､会長の承認を得て決定する｡

※殊勲賞の､当該優勝チームの監督からの意見聴取の中止

13．その他

ロ．（前略）

２台進行の目途とする時間は、１部は２時間半、２部は２時間、３部以下は
１時間とする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

２台進行の目途とする時間は、１部は２時間、２部は１時間半、３部以下は
１時間とする。

※１～２部の２台進行メドの３０分ずつの短縮

来年度・２０２６年（Ｒ８）からの変更箇所（予告）

関東学生卓球連盟・事業実施細則

第　２条　関東学生卓球新人選手権大会（主催　関東学生卓球連盟）

　　　　　３．出場資格

　　　　　　　過去に全日本学生選手権大会､及び全日本学生選抜選手権大会のいずれに

も出場していない者。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　３．出場資格

　　　　　　　過去に全日本学生選手権大会､及び全日本学生選抜選手権大会のいずれに

も出場していない者。

　　　　　　　１～２年生に限る。（２０２６年（Ｒ８年）より）

第　８条　関東学生卓球リーグ戦（主催　関東学生卓球連盟）

１．リーグ戦出場資格（２０２６年（Ｒ８年）より）

ハ．試合成立に必要な人数に１名足りない場合には､１番を失格（不戦敗）扱いとし､

２番以降の試合を有効とする。

試合成立に必要な人数に２名足りない場合には､１～２番を失格（不戦敗）扱いとし､

３番以降の試合を有効とする。

６単１複の場合、試合成立に必要な人数（６人）に３名足りない場合（＝３人の場合）

には､１～３番を失格（不戦敗）扱いとし､４番以降の試合を有効とする。

試合成立可能限界以上に足りない場合は､その試合において､そのチームは不戦敗と

する。

なお､不足の場合は、相手チームがオーダーを作成する前に、不戦敗である旨を相手

チームに伝えなければならない。

また､両チームとも１名不足の場合で､２～５番の試合結果が２勝２敗となった場合は､

４試合の得失ゲーム数の勝率計算により､勝敗を決する。得失ゲーム数の勝率も同じ

だった場合は､得失ポイント数の勝率計算により､勝敗を決する。得失ポイント数の

勝率も同じだった場合は､くじによって勝敗を決する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

ハ．試合成立に必要な人数に１名足りない場合には､４単１複の場合は１番を失格

（不戦敗）扱いとし､２番以降の試合を有効とする。６単１複の場合は２番を失格

（不戦敗）扱いとし､１番ダブルス、及び３番以降の試合を有効とする。

試合成立に必要な人数に２名足りない場合には､４単１複の場合は１～２番を失格

（不戦敗）扱いとし､３番以降の試合を有効とする。６単１複の場合は２～３番を失格

（不戦敗）扱いとし､１番ダブルス、及び４番以降の試合を有効とする。

６単１複の場合、試合成立に必要な人数（６人）に３名足りない場合（＝３人の場合）

には､２～４番を失格（不戦敗）扱いとし､１番ダブルス、及び５番以降の試合を有効と

する。

（中略）

また､両チームともメンバー不足の場合で､試合結果が２勝２敗（または３勝３敗）と

なった場合は､４試合（または６試合）の得失ゲーム数の勝率計算により､勝敗を決する。

（後略）

　※メンバー不足時の不戦敗対応などの変更

３．競技方法

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 男子１～３部、女子１・２部 | 男子４部以下・女子３部以下 |  |
| 　 | 試合方式 | 4点先取7点制 　　　(６単１複) | 　　　３点先取５点制 　　　　(４単１複) |  |
| 　 | 複の位置 | 　　　　４　　番  | 　　　　　３　　番　　 　 |  |
|  | 複出場者の単出場に関わる 制　限 | いずれか一方しか前半(1～3番)に出場できない | いずれか一方しか前半　　(1番･2番)に出場できない |  |
|  |  外国人 | 　ベンチエントリーは２名まで､出場はその内の１名とする |  |
|  |  留学生 選手に 関わる 制 限 | その１名の､単複いずれか　　　　　１回の出場に限る | 　　　　　特になし 　 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　↓

３．競技方法（２０２６年（Ｒ８年）より）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 男子１～３部、女子１・２部 | 男子４部以下・女子３部以下 |  |
| 　 | 試合方式 | 4点先取7点制 　　　(６単１複) | 　　　３点先取５点制 　　　　(４単１複) |  |
| 　 | 複の位置 | 　　　　１　　番  | 　　　　　３　　番　　 　 |  |
|  | 複出場者の単出場に関わる 制　限 | （Ｒ７中に検討） | いずれか一方しか前半　　(1番･2番)に出場できない |  |
|  |  外国人 | 　ベンチエントリーは２名まで､出場はその内の１名とする |  |
|  |  留学生 選手に 関わる 制 限 | その１名の､単複いずれか　　　　　１回の出場に限る | 　　　　　特になし 　 |  |

10．オーダーについて（２０２６年（Ｒ８年）より）

間違ったオーダーを交換した場合には､次の基準に従って判断する。

罰則処分は､そのチームの､その試合（マッチ）において問題となる試合（ゲーム）に
のみ適用され､チームの試合全体（マッチ）は有効とする。

他の試合（マッチ）は罰則処分対象外で､有効とする。

イ．６単１複、及び４単１複の試合方式において､前半に出場した選手同士でダブルス
を組んだ場合は、ダブルスを失格（不戦敗）とする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

イ．~~６単１複、及び~~４単１複の試合方式において､前半に出場した選手同士でダブルス
を組んだ場合は、ダブルスを失格（不戦敗）とする。

以上